

三菱HCキャピタルの注力領域とセグメント

三菱HCキャピタルは、旧両社が培ってきた各事業の強み、さらには、理想的な相互補完関係を生かし、ビジネス領域や展開地域におけるポートフォリオの分散とフルラインアップ化を実現しました。当社は、この外部環境の影響を受けにくい、強固で安定的な収益基盤を生かし、「社会資本／ライフ」「環境・エネルギー」「モビリティ」「販売金融」「グローバルアセット」の5つを注力領域に掲げて先進的なアセットビジネスを展開し、その強化、

拡大を図りつつ、さらなるポートフォリオの分散に向けた、新たな成長ドライバーの育成に努めています。以下のチャートでは、新会社の営業組織をベースに統合、再編したセグメントが担う注力領域を紹介しています。

注力領域	各注力領域のターゲット	具体的な取り組み	担うセグメント
 <p>社会資本／ライフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業基盤・生活関連の社会資本が対象 不動産ファイナンス、事業運営、社会インフラ投資を展開し、豊かな暮らしの実現に向けた価値を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 海外インフラプロジェクトへの参画 PPP・PFI事業 不動産のリース、流動化、再生投資事業 オフィスビル、商業施設、ホテル、物流施設などの管理・運営 医療機器導入支援 	
 <p>環境・エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再生エネルギーを主体に、創エネ、蓄エネ、省エネ全般が対象 プロジェクト投融资に加えて、戦略パートナーとの共同ビジネスを展開 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電事業、同事業関連のアセットマネジメント・事業運営 ソーラーPPA (Power Purchase Agreement) 事業 環境サポートサービス ESCO (Energy Service Company) 事業 	
 <p>販売金融</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業機械・情報通信設備・OA機器など、経済活動を支える事業用資産が対象 デジタル化による省人化、効率化の加速 	<ul style="list-style-type: none"> 機械・設備の導入および販売活動のバックアップ パートナーリース(売主さま向け販売支援ファイナンスサービス) グローバルネットワークを活用した海外ファイナンス支援 リース満了物件を中心とした中古装置の販売、買取 	
 <p>モビリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> オートリースや先進的なモビリティサービスが対象 データ利活用によるソリューション提供への進化 	<ul style="list-style-type: none"> 車両リース・管理業務に係るトータルサービス 特殊車両のメンテナンス、カスタマイズ(福祉車両、ゴミ収集車など) リスクマネジメントサービス(安全運転講習会の実施、安全管理体制の診断など) 車両買取 車両WEB管理システム MaaS (Mobility as a Service) 事業 	
 <p>グローバルアセット</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地で高い流動性と価値を見いだせる高付加価値資産が対象 オペレーティングリースをベースに、多様なアセットビジネスを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機リース 航空機エンジンリース 海上コンテナサービス 鉄道貨車リース 	

「グローバルアセット」の強化

投資シナジー実現の第一弾：米国の大手海上コンテナリース会社を買収

当社は、2021年6月、米国の大手海上コンテナリース会社 CAI International, Inc. (以下、CAI社)の全株式を取得し、完全子会社化することで合意しました。CAI社は海上コンテナリース業界におけるコンテナ保有数(TEU*1ベース)で世界5位の企業で、世界各国のマーケティング・オペレーティング拠点やコンテナの保管拠点を基盤とするグローバルプラットフォームに強みを有しています。当社の海上コンテナリース事業会社である Beacon Intermodal Leasing, LLC と合わせると、当社グループのコンテナ保有数は世界第2位グループの規模となります。海上コンテナリース事業は、安定的な需要と高い収益性を有する持続的成長市場であり、グローバルにおける競争力を高め、その成長機会を取り込むことで、当社の中長期的な成長を支えるドライバーとして期待しています。



三菱HCキャピタルのM&Aを通じた海外事業の強化

年月	概要
2013年1月	航空機リース会社 Jackson Square Aviation, LLCなどを傘下に持つ JSA International Holdings, L.P. を子会社化
2013年11月	インドネシアのオートリース会社 PT. Takari Kokoh Sejahtera を子会社化
2014年11月	航空機エンジンリース会社 Engine Lease Finance Corporation を子会社化
2014年11月	海上コンテナリース会社 Beacon Intermodal Leasing, LLC を子会社化
2018年12月	米国販売金融事業会社 ENGS Holdings Inc. を子会社化

脱炭素社会の実現に向けた主な取り組み

主な取り組み事例

リリース時期	案件概要
2017年4月	ドイツにおける洋上風力発電事業向け海底送電事業に参画
2018年5月	MULユーティリティイノベーションを設立し、ソーラーPPA事業やVPP*2実証事業に参画
2018年11月	英国における洋上風力発電事業に参画
2020年2月	グリーンボンドを活用した太陽光発電所(岡山県)が運転開始
2020年11月	アイルランドにおける風力発電事業に参画
2020年12月	Hitachi Asia (Thailand)、SANTEC POWER SOLUTIONS とタイにおける太陽光発電事業促進に向けた協業を開始
2021年1月	英国にて再生可能エネルギー事業を手掛ける GRIDSERVE Holdings に出資(2025年までに英国内に100カ所以上の電気自動車(EV)充電ステーションを開設予定)
2021年2月	香港特別行政区にて環境リサイクル事業(ガラス瓶再資源化事業)を手掛ける Bloom Profit に出資
2021年3月	英国における洋上風力発電事業向け海底送電事業に参画
2021年5月	ベトナムにおける風力発電事業に参画

国内外の運転開始済みの抛出持分出力数 (インフラ・企業投資部門の実績を含む)

	2021/3期	2022/3期1Q	前期末比
合計 ^{※3,4,5}	1,136MW	1,208MW	+71MW
太陽光	907MW	934MW	+26MW
風力	228MW	273MW	+45MW

※1 20フィートコンテナ1個分を表す単位
 ※2 バーチャルパワープラント(Virtual Power Plant)の略
 ※3 持分法投資残高を含む
 ※4 管理会計値
 ※5 ファイナンス案件分は含まない